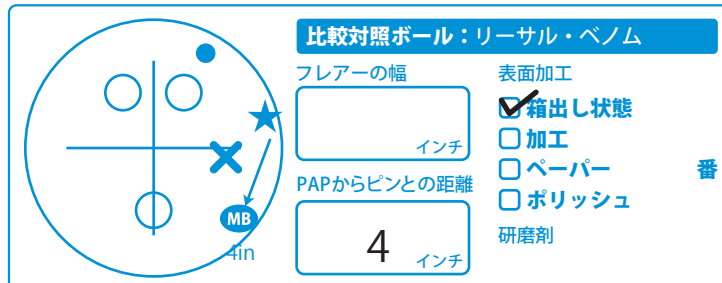
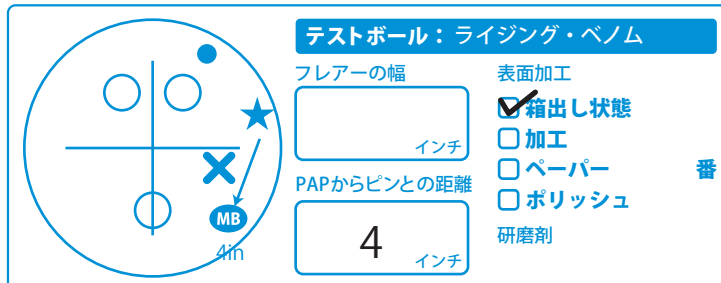


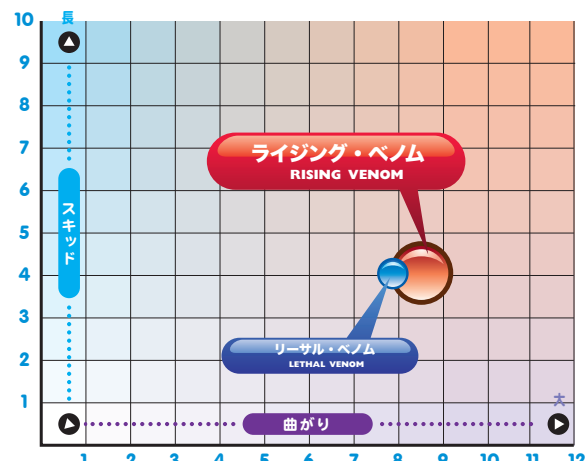
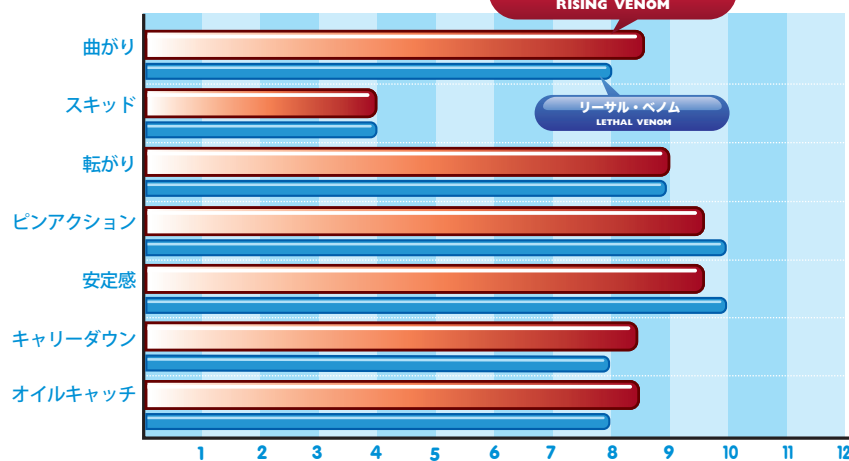
# ボールの特性レポート BALL REPORT



|      |           |     |       |                       |      |           |
|------|-----------|-----|-------|-----------------------|------|-----------|
| ボール名 | ライジング・ベノム |     | 投球者   | 徳江 和則                 | センター | 平和島スターボウル |
| RG   | 2.470     | △RG | 0.036 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール |      |           |



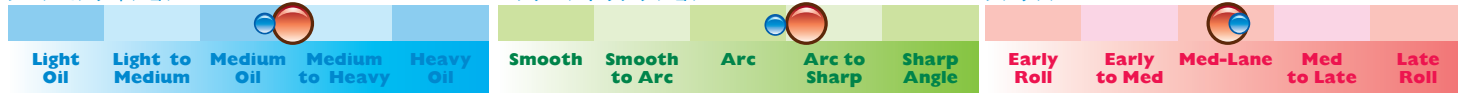
ヘビー  
ミディアム  
ライト  
バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジ



## ボールの評価

MOTIV社から新たに登場した「RISING VENOM」は、「VENOM SHOCK」のTurmoil MFS Solid Reactiveカバーと「BLACK VENOM」のGear™ APG Asymmetricalコアを融合させた、定評のあるカバーストックとコアの組み合わせとなっており、MOTIVファンには非常に興味深いモデルとして仕上がっています。

Turmoil MFS Solid Reactiveカバーは、VENOM SHOCKで立証されたミディアムレンジを中心に圧倒的な使いまわしの良さとアジャスト能力の高さ、過激には反応しないもののバランスの良いキャッチ力が定評で、2014年4月からロングランで今もなお発売され続け、国内外で多くのユーザーに受け入れられているカバーであり、特に難解なアジャスティングにおいてはその真価を発揮し、ラインの安定性を高めてくれます。Gear™ APG Asymmetricalコアはスムーズな転がりと非対称コアの特徴をバックエンドに転化させ、ミッドからの安定感のある軸移動とバックエンドで協調性のある動きを提供することに役立ちます。表面仕上げは4000 Grit LSSで、粗すぎず、適度なマット感を持っており、これにより手前での動きを抑えつつ、ミッドレーンからバックエンドにかけての安定した動きを実現しています。特に、手前でのスキッドが少なく、ミッドでのトラクションが強く感じられるため、オイルが長めのコンディションでも安定したライン取りが可能です。総じて、「RISING VENOM」は、これまでの「VENOM SHOCK」や「BLACK VENOM」とは一線を画す、コントロール性を重視したモデルとなっています。

## 特記事項

。オイルが長めのレーンコンディションや荒れたレーンでの安定したライン取りを求めるボウラーにとって、非常に頼りになる1球と言えるでしょう。